

東京外国為替市場委員会 第 233 回会合 議事録

開催日時 2020 年 7 月 28 日 電話開催
議長 中村 直人
副議長 大澤 孝元
副議長 川口 隆
書記 原 俊太郎
出席者 24 名

I. 役員及び委員の再任及び交代

中村議長より、自身の任期が満了する旨が報告されました。議長に再び立候補する意思が示され、全会一致で了承されました。また、中村議長より、大熊委員及び桑野委員の任期が満了することが報告されました。両氏から、委員に再び立候補する意思が示され、いずれも全会一致で了承されました。加えて、中村議長より、丸山氏が準委員から退任し、塩原氏が後任となる旨が報告されました。

II. コロナウイルス影響拡大と今後の対応

各委員より、国内での感染拡大に伴う各社の対応について情報共有がされました。感染拡大を受け、西村経済相が経済界に対しテレワークの徹底を改めて要請したこと等が話題となりました。

III. GFXC カンファレンス

星野委員より、6月22日に開催されたGFXCの電話会議について、討議内容の還元がありました。会議の場では、コロナ禍の市場動向や、為替決済リスクの残存等が話題となった旨の説明がありました。

IV. PVP 決済の現状について

宮崎委員より、NY外為市場委員会での講演資料をもとに、PVP決済の現状についての説明がありました。

V. 市場調査小委員会開催

市場調査小委の活動に関し、塩原準委員が「外国為替取引高サーベイ」（2020/4月調査分）の概要について説明し、調査結果を後日対外公表することが報告されました。

IV. フォレックスセミナーの案内方法

高山委員より、フォレックスセミナーにおいて、会員への連絡手段を従来の郵送形式から電子メール形式に変更することを検討している旨の報告がありました。大木委員より、同案件のシステム構築に関する費用等について説明がありました。

VII. オペレーションに係るワーキンググループ創設の提案

星野委員より、業務の一層のペーパーレス化に向けて、現行のファックス業務等を見直すワーキンググループを新設することが提案されました。 以上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (7月28日現在)

<委員>

議長・BCP小委員長	○中村 直人	(三菱UFJ銀行)
副議長・E コマース小委員長	○大澤 孝元	(バークレイズ銀行)
副議長・CoC小委員長	○川口 隆	(みずほ銀行)
書記	○原 俊太郎	(日本銀行)
運営小委員長	塚田 常雅	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソースジャパン)
法律・コンプライアンス小委員長	○五日市 知之	(三井住友信託銀行)
教育小委員長	○高山 典大	(野村証券)
市場調査・バイサイド小委員長	○石橋 優	(三井住友銀行)
	○星野 昭	(シティグループ証券)
	○廣田 泰司	(JP モルガン・チェース銀行)
	○石川 昌信	(上田東短フォレックス)
	○宗川 雄視	(リフィニティブ・ジャパン)
	○宮崎 誠	(CLS)
	○好川 弘一	(NAB 証券)
	○岩崎 拓也	(バンク・オブ・アメリカ・エヌ・エイ)
	○大熊 貴之	(野村アセットマネジメント)
	○桑野 貴	(ゴールドマン・サックス証券)
	○井上 裕嗣	(BNP パリバ銀行)

<準委員>

○伊藤 祐介	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
○小柳 徳明	(三菱UFJ銀行)
○田中 潤平	(みずほ銀行)
○中野 琴音	(バークレイズ銀行)
○内山 祐樹	(三井住友銀行)
○塩原 遵	(日本銀行)

<オブザーバー>

長谷川 実 (財務省)

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。